

コースタイム	場所	標高	実標高	備考
5:05	駐車場出発	935m		空には今日も雲が無い!
5:48	大岳へ2.5km	1135m		
6:02~6:07	休憩(大岳へ2.0km)	1210m		
6:38	仙人岱ヒュッテ分岐	1330m		湿原の花を撮りながら
6:45	小岳・高田大岳分岐	1335m		
7:30~8:00	八甲田大岳山頂(朝食)	1590m	1585m	うるさいおやじ一人
8:12~8:15	大岳非難小屋	1445m		
8:39	ロープウェイ分岐(上毛無岱)	1230m		湿原の花を撮りながら
9:05	下毛無岱	1085m		
9:12~9:17	休憩(湿原の休憩所)			
9:41	城ヶ倉温泉分岐	1015m		
9:57	酸ヶ湯登山口	915m		
10:05	駐車場	925m		

○酸ヶ湯の駐車場、4時に起床。
車中での宿泊にもすっかり慣れて熟睡した。

- ・サンドイッチとヨーグルトでの朝食と朝の身支度を済ませ、5:05駐車場を出発。4時半頃5~6人の年輩のパーティーが登っていったがそのほかには登山者はいない。
- ・仙人岱までゆっくりと登る。今日も空は晴れて暑くなりそうだ。
- ・仙人岱で花を撮りながらのんびり歩いていると年輩のおじさんが一人でスタスタと追いかけてきた。七戸の実家から今朝早く出かけてきた といひ話しかけてきて、「この辺の山はほとんど登っている。朝は露でびしょ濡れになるからスパッツがいる」などなど講釈がうるさい。丁重に挨拶して先に行かせ大岳のガレ場の登りにかかる。



酸ヶ湯駐車場の朝



高田大岳分岐



八甲田大岳山頂

・7:30快晴の八甲田大岳山頂に立つ。
南東は霞んでいて良く見えないが、西には昨日登った岩木山がくっきりと聳えて見える、眺望良好。
山頂には先ほどのおじさんが一人いてまた話しかけてきた。南に広がる駒ヶ峰、櫛ヶ峰など南八甲田の山々をいろいろ説明しての講釈がはじまった。
登りの途中、朝食中なので抜いてきた年輩のパーティーが到着したので、講釈の相手をそっちに譲り、やっと一人になってゆっくり朝食をとる。



ロープウェイ駅の遠望

・頂上には私を含めてこの3パーティーだけしかいない。そのうち皆下山して行き私一人で八甲田大岳の頂上を独占!

太陽と静寂と展望を思う存分楽しんだ。

ロープウェイの駅が良く見える。



岩木山を見ながら毛無岱を歩く



キンコウカの黄色の絨毯



上毛無岱

- ・下りの道は上毛無岱、下毛無岱とギンギンの太陽に照らされながら、キンコウカが一面に咲き乱れる黄色絨毯の中に続く木道を歩く。
- ・このあたりに咲いているというヒナザクラを探しながら歩くが、季節に遅かったのか残念ながら一輪も見つけられなかった。



下毛無岱

- ・10:00に酸ヶ湯に到着。ゆっくり休憩してから今日の目的地、下北半島にむけて出発。

- ・途中ワンゲル1年生の夏合宿で来た奥入瀬渓谷と十和田湖に寄った。ちょっと距離があったが美しい奥入瀬渓流を車から眺め、十和田湖の乙女の像を40余年ぶりに訪れた。



奥入瀬の溪流



十和田湖・乙女の像

- ・十和田湖の休屋を出たのが2時過ぎになってしまい、下北半島に向け突っ走った。
- ・ワンゲル時代に行きそびれた下北半島の、薬研と恐山にどうしても行ってみたい。この旅も終盤だから今日は食事つきの宿で温泉につかってゆっくりと畳の上で寝たい。

- ・途中の道の駅でむつ市の観光案内所に電話して「薬研荘」を紹介された。高そうな宿で、おそろおそろ電話すると幸か不幸か「今日は満室」とのこと。土曜日だものね。どこか安宿を紹介してくれないかと依頼して「あすなろ荘」なる民宿を紹介してもらった。電話して無事予約を取りこれで今夜の宿は確保。一路薬研へ急ぐ。5:30薬研温泉の民宿「あすなろ荘」に到着。

- ・土曜日ということか、キャンプの車で結構混雑している。外は久しぶりの雨。
- ・民宿の小さい風呂だが透明で無臭に近い炭酸泉のすばらしい温泉。一人でゆっくりと浸かり今日までの旅の疲れを癒す。食事の時間まで、写真の整理と行動記録を書く。
- ・客は私のほかに女性一人。宇都宮ナンバーの軽自動車に来ていて、その外観からはじめは男性かと思っていたが女性の風呂に入ってしまったので、その後の観察で女性と確認した謎の女性。宿泊客2人。
- ・下北の郷土料理「みそ貝焼」のご馳走にビール大瓶と「じょっぱり」の酒で快く酔う。
- ・9時過ぎに畳の上の布団はいる。今夜は手足を思いっきり伸ばして寝るぞ！

- ・外ではポタポタと雨の雫の音が…。この旅が始まってから初めての雨だ！久しぶりの雨もしっとりして良いものですね。おやすみ。